

# 分野連携企画報告書

## 第一回法工学・環境工学連携セミナー 「環境技術における法工学～SDGsに向けて～」

<https://www.jsme.or.jp/event/21-19/>

### 1.開催日・会場

2021年3月5日（金）16:00～17:40, オンライン開催

### 3.企画内容

環境工学部門からの事例紹介（問題提起）4件に対して、法工学部門からそれに対するアンサーを行う対話形式とした。セミナーへの参加者は実際に企業の中で環境対策や騒音振動対策に取り組んでいるエンジニアを想定し、その方々が法工学の知識と手法に基づいて、自らの業務の効率化や社会実装のためのヒントが得られることを目標とした。

#### 講演内容：

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ①「環境騒音に関する規格と認証」<br>回答・解説       | 高野 靖教授（京大）<br>齊藤 了文教授（関西大）                |
| ②「道路交通騒音低減の課題と法体系について」<br>回答・解説 | 白橋 良宏氏（日産自動車）<br>近藤 恵嗣弁護士<br>（福田・近藤法律事務所） |
| ③「A Iによる自動操作の責任管理」<br>回答・解説     | 小嶋 浩史氏（JFEエンジ）<br>今枝 幸博氏（村田機械）            |
| ④「プラントの遠隔監視における法的な課題」<br>回答・解説  | 山口 尚夫氏（クボタ環境）<br>加藤 浩教授（日大）               |

### 2.企画部門

環境工学部門, 法工学専門会議

### 4.連携の成果

環境工学分野の研究者・エンジニアが法工学を知り、その接点を見出すという目的は達成された。まず、環境工学・法工学の双方に関して、講師の先生方を中心とする人的接点が得られたことは価値が大きい。また、4件の具体的な事例について、論点の絞りこみ、課題設定の方法に関する環境工学・法工学の間の差異を互いに理解することができた。

### 5.今後の課題

環境工学と法工学の接点は一般論で簡単に解が得られるものではなく、多くの事例に対する具体的な論点整理とそれに対するアプローチの考察の集積として成立するものであることが分かった。したがって、今後も様々なエンジニアリングの場で日々生じる新しい課題を持ち寄り、継続的に議論を重ねることが重要である。そのために、本セミナーも第二回以降を定期的で開催していくことを目指したい。